科目名	コミュニケーションスキルアップ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	片岡紀予
学科・コース	スーパークリエイター科	授業形態	実技	総時間（単位）	30 1		
教員の略歴	北里大学卒業後、日油株式会社勤務。キャリアコンサルタント。精神福祉士取得、コミュニケーション、心理学講師						
授業の学習内容	社会人になるための基本的なコミュニケーション力をつける。今後の研修、就職活動に向けて自己理解を深め、自分の長所や短所の理解を深めておく。チームで動く力をつけるため、グループワーク中心の授業となる。更にプレゼンテーション、チーム企画などのグループ活動を行う。						
到達目標	前期は自己理解、他者理解を深めることでコミュニケーション力を上げていく。後期はCSU検定の合格、履歴書を書けるだけの自己理解、就職活動に活かせるコミュニケーション力をつけていく。						
評価方法と基準	テスト結果30%授業態度70%(つぶやきメモの振り返りを含む)						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月21日	グループワーク	授業内容説明、自己紹介ワーク	教科書1章を読む
2	4月28日	グループワーク	好きな物マップ。自分を知ってもらう	教科書2章を読む
3	5月12日	グループワーク	WHO　am　I。自己分析	教科書2章を読む
4	5月19日	個人ワーク	エゴグラム。心理テスト	自己分析のまとめ
5	6月2日	グループワーク	ジェスチャーゲーム、模擬店	教科書3章を読む
6	6月13日	グループワーク	言葉で伝える図形	教科書2章を読む
7	6月16日	プレゼン	おいしいもの自慢。プレゼン基礎	プレゼンテーションについて調べる
8	6月23日	グループワーク	日常行動テスト。自己分析	普段自分を理解するように意識する
9	6月30日	グループワーク	なぞの宝島（またはわたしのイメージ）	教科書3章を読む
10	7月7日	グループワーク	ストローク。肯定的関り	普段肯定的関りを意識する
11	7月14日	グループワーク	もし～がなかったら。ブレスト会議の基礎	教科書3章を読む
12	7月21日	グループワーク	How　much価値観	他者との価値観の違いを意識する
13	9月1日	グループワーク	わたしのイメージ	教科書3章を読む
14	9月8日	試験		
15				
準備学習　時間外学習			基本的には教科書を授業前、後で目を通しておく。	

【使用教科書・教材・参考書】
CSU教科書、配布資料

科目名	デッサンＩＢ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	横山寛多
学科・コース	スーパークリエイター科	授業形態	実習	総時間（単位）	90 3		
教員の略歴	多摩美術大学油画科卒。イラストレーター、絵本作家。						
授業の学習内容	デッサンの授業ではモチーフをよく見て描く技術を向上させます。 思いこみやイメージ、先入観を排することが最も大切になります。 観察、描写、修正を繰り返すことで、すこしづつ真摯で正確な観察力が身についていきます。 最初は観察の方法から学びます。描写力は二次的に身につきます。						
到達目標	先入観にとらわれず、多角的に観察することで構造をとらえる。 デッサンを通して絵画的な教養の基礎を身につける。 客観描写の精度を上げる。 作品を時間内に仕上げる時間感覚を身につける。						
評価方法と基準	課題ごとに講評を行う。作品の提出率、完成度、習熟度、授業態度を成績評価の基準とする。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月22日	実習	言葉で伝える/クロッキー①	「人物クロッキー」もしくは「模写」
2	5月13日	実習	風景スケッチ/風景スケッチ①/クロッキー②	「人物クロッキー」もしくは「模写」
3	5月20日	実習	風景スケッチ②	「人物クロッキー」もしくは「模写」
4	5月27日	実習	クロッキー③/3色スケッチ	「人物クロッキー」もしくは「模写」
5	6月3日	実習	風景スケッチ③/3色風景スケッチ	「人物クロッキー」もしくは「模写」
6	6月17日	実習	風景スケッチ/クロッキー	「人物クロッキー」もしくは「模写」
7	6月24日	実習	ラフを描く /アイデアを複数考える	「人物クロッキー」もしくは「模写」
8	7月1日	実習	風景スケッチ/クロッキー	「人物クロッキー」もしくは「模写」
9	7月8日	実習	クロッキー/イラスト 制作	「人物クロッキー」もしくは「模写」
10	7月15日	実習	イラスト 講評/加筆修正	「人物クロッキー」もしくは「模写」
11	7月22日	実習	構成について	「人物クロッキー」もしくは「模写」
12	9月2日	実習	デッサンあたりどり①	「人物クロッキー」もしくは「模写」
13	9月9日	実習	デッサンあたりどり②	「人物クロッキー」もしくは「模写」
14	9月16日	実習	デッサンあたりどり③	「人物クロッキー」もしくは「模写」
15	／			
準備学習　時間外学習				

科目名	デッサン	必修選択	必修・選択必修・選択等	年次	1	担当教員	山﨑隆
学科・コース	スーパークリエイター科	授業形態	講義・演習・実習等	総時間（単位）	60 2		
教員の略歴	1981武蔵野美術大学大学院造形研究科修了　1982～2003 同大学共通彫塑研究室助手・講師						
授業の学習内容	①観察力を高める ②全ての教科の基礎となる ③自己の眼、五感を通し想像する力を高める ④描くことへの先入観や苦手意識を取り省きながら、簡単な形態から徐々に難しいものの描写へと進める						
到達目標	①遠近法をしっかりと理解する ②立体的にモチーフを観察できる ③存在感のあるしっかりとした描写が出来る						
評価方法と基準	①各授業ごとの理解度 ②前期2回程度のコンクール形式の作品の点数						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	04月20日	実習	本的道具の使用方法　粘土を用立方体を制作後描	無し
2	04月27日	実習	粘土による立体デッサン（靴　・1	無し
3	05月11日	実習	粘土による立体デッサン・2	無し
4	05月18日	実習	黒長靴の描写	無し
5	05月25日	実習	遠近法（四角形）	無し
6	06月01日	実習	遠近法（円柱型）	無し
7	06月15日	実習	量感のあるモチーフ・1	無し
8	06月22日	実習	量感のあるモチーフ・2	無し
9	06月29日	実習	コンクール	無し
10	07月06日	実習	クロッキー（友人）	無し
11	07月13日	実習	友人像	無し
12	07月20日	実習	自画像	無し
13	08月31日	実習	自由課題	無し
14	09月07日	実習	コンクール	無し
15				
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

鉛筆（21本組）、カッター、練り消しゴム

科目名	コミュニケーションスキルアップ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	片岡紀予
		授業形態	実技	総時間（単位）	30 1		
学科・コース	スーパークリエーター昼二1年C						
教員の略歴	北里大学卒業後、日油株式会社勤務。キャリアコンサルタント。精神福祉士取得、コミュニケーション、心理学講師						
授業の学習内容	社会人になるための基本的なコミュニケーション力をつける。今後の研修、就職活動に向けて自己理解を深め、自分の長所や短所の理解を深めておく。チームで動く力をつけるため、グループワーク中心の授業となる。更にプレゼンテーション、チーム企画などのグループ活動を行う。						
到達目標	前期は自己理解、他者理解を深めることでコミュニケーション力を上げていく。後期はCSU検定の合格、履歴書を書けるだけの自己理解、就職活動に活かせるコミュニケーション力をつけていく。						
評価方法と基準	テスト結果30%授業態度70%(つぶやきメモの振り返りを含む)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義と実習	授業内容説明、自己紹介ワーク	教科書１章を読む
2	4月28日	講義と実習	好きな物マップ。自分を知ってもらう	教科書2章を読む
3	5月12日	講義と実習	WHO　am　I。自己分析	教科書2章を読む
4	5月19日	演習	エゴグラム。心理テスト	自己分析のまとめ
5	6月2日	講義と実習	ジェスチャーゲーム、模擬店	教科書３章を読む
6	6月13日	講義と実習	言葉で伝える図形	教科書2章を読む
7	6月16日	講義と実習	おいしいもの自慢。プレゼン基礎	プレゼンテーションについて調べる
8	6月23日	講義と実習	日常行動テスト。自己分析	普段自分を理解するように意識する
9	6月30日	講義と実習	なぞの宝島（またはわたしのイメージ）	教科書３章を読む
10	7月7日	講義と実習	ストローク。肯定的関り	普段肯定的関りを意識する
11	7月14日	講義と実習	もし～がなかったら。ブレスト会議の基礎	教科書３章を読む
12	7月21日	講義と実習	Ｈｏｗ　ｍｕｃｈ価値観	他者との価値観の違いを意識する
13	9月1日	講義と実習	わたしのイメージ	教科書３章を読む
14	9月8日	試験		
15	9月15日		評価週	
準備学習　時間外学習			基本的には教科書を授業前、後で目を通しておく。	

【使用教科書・教材・参考書】

CSU教科書、配布資料

科目名	デッサンＩＢ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	山﨑隆
学科・ｺｰｽ	スーパークリエーター昼二1年C	授業形態	実習	総時間（単位）	60 2		
教員の略歴	1981武蔵野美術大学大学院造形研究科修了　1982～2003 同大学共通彫塑研究室助手・講師						
授業の学習内容	①観察力を高める ②全ての教科の基礎となる ③自己の眼、五感を通し想像する力を高める ④描くことへの先入観や苦手意識を取り省きながら、簡単な形態から徐々に難しいものの描写へと進める						
到達目標	①遠近法をしっかりと理解する ②立体的にモチーフを観察できる ③存在感のあるしっかりとした描写が出来る						
評価方法と基準	①各授業ごとの理解度 ②前期2回程度のコンクール形式の作品の点数						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月19日	実習	基本的道具の使用方法 粘土を用立方体を制作後描写	無し
2	4月27日	実習	粘土による立体デッサン（靴）　・1	無し
3	5月11日	実習	粘土による立体デッサン・2	無し
4	5月18日	実習	黒長靴の描写	無し
5	5月25日	実習	遠近法（四角形）	無し
6	6月1日	実習	遠近法（円柱型）	無し
7	6月15日	実習	量感のあるモチーフ・1	無し
8	6月22日	実習	量感のあるモチーフ・2	無し
9	6月29日	実習	コンクール	無し
10	7月6日	実習	クロッキー（友人）	無し
11	7月13日	実習	友人像	無し
12	7月20日	実習	自画像	無し
13	8月31日	実習	自由課題	無し
14	9月7日	実習	コンクール	無し
15	9月14日		評価週	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	デッサンIIIAデッサンIIIB	必修選択	選択	年次	3	担当教員	郷治
学科・コース	スーパークリエイター科	授業形態	実習	総時間（単位）	60 2		
教員の略歴	東京芸術大学油画卒業／画家						
授業の学習内容	継続的なデッサン制作を通じて、客観的な表現力・判断能力・批評意識を育みます。 クラスで共通のモチーフをデッサンしていても、必ず個々人が描く作品の傾向には違いが生じます。 そのような自らの癖や偏りを自覚し、良いところはさらに伸ばし、苦手なところは克服することを目指します。						
到達目標	アナログ画材（紙・鉛筆・木炭など）の習熟度の向上を目指します。 「形態」「空間・光」「質感」「構図」といった平面表現の基本を経験として学んでいきます。 自分や他者の作品について、抽象的な事象を自分の言葉で説明できるようトレーニングします。 ポートフォリオに掲載可能なデッサン作品の制作。						
評価方法と基準	「形態」「空間・光」「質感」「構図」 提出課題に対して、上記項目が表現出来ているかを評価する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	演習	石膏デッサン【離れてみる・比率を直す】	クロッキー（人体・身の回りのもの）
2	4月25日	演習	石膏デッサン【離れてみる・比率を直す】	クロッキー（人体・身の回りのもの）
3	5月9日	演習	石膏デッサン【離れてみる・比率を直す】	クロッキー（人体・身の回りのもの）
4	5月16日	演習	静物デッサン（牛骨・ブロック）【質感・描写】	クロッキー（人体・身の回りのもの）
5	5月23日	演習	静物デッサン（牛骨・ブロック）【質感・描写】	クロッキー（人体・身の回りのもの）
6	5月30日	演習	静物デッサン（牛骨・ブロック）【質感・描写】	クロッキー（人体・身の回りのもの）
7	6月6日	演習	ヌードクロッキー【前期人体特訓①】	クロッキー（人体・身の回りのもの）
8	6月20日	演習	人物デッサン1/2【前期人体特訓②】	クロッキー（人体・身の回りのもの）
9	6月27日	演習	人物デッサン2/2【前期人体特訓②】	クロッキー（人体・身の回りのもの）
10	7月4日	演習	椅子or机デッサン【工業製品・パース】	クロッキー（人体・身の回りのもの）
11	7月11日	演習	椅子or机デッサン【工業製品・パース】	クロッキー（人体・身の回りのもの）
12	7月18日	演習	静物デッサン（黒布・幾何形態他石膏）【空間表現】	クロッキー（人体・身の回りのもの）
13	8月29日	演習	静物デッサン（黒布・幾何形態他石膏）【空間表現】	クロッキー（人体・身の回りのもの）
14	9月5日	演習	静物デッサン（黒布・幾何形態他石膏）【空間表現】	クロッキー（人体・身の回りのもの）
15	／			
準備学習　時間外学習			前授業の復習および提示課題制作□	

【使用教科書・教材・参考書】

デッサン用具一式（鉛筆・練りゴム・ガーゼもしくはティッシュ）